

2022年度 休眠預金活用事業「立ち直りを支える地域支援ネットワーク創出事業」 実行団体の事業概要（順不同）

※助成額は実行団体より提出いただいた事業計画書・資金計画書に基づき算定しています。

1 団体目

団体名	更生保護法人滋賀県更生保護事業協会
活動地域	滋賀県
事業名	(主) 地域の KANAME ネットワーカーの育成と重層的支援体制構築による息の長い支援事業 (副) ～人によし、支えてよし、地域（まち）によし・・・誰もが一緒に歩める社会を目指して～
事業概要	2019 事業で取り組んだ、保護司（会）を中核とした「息の長い支援」に向けた基盤整備事業を踏まえ、次のステップとして、保護司など更生保護関係者だけが更生支援に関わるのではなく、多様な機関・団体が「息の長い支援」の意義を理解し、協働活動に踏み出すよう、地域での顔の見えるネットワークを構築する。具体的には、地域ごとにネットワーカーを育成し、支援参画者の拡充を図り、関係性を構築していくことで、保護司や協力雇用主など刑務所出所者等への直接支援の担い手が孤立しない（支援者を支援する）仕組みを作る。
選定理由	・保護司を中心としたネットワーク構築を事業の主軸に置いているが、地域行政や更生保護以外の関係団体との接続を視野に入れ、地域全体で対象者を支えていく体制づくりを構想していることは評価できる。 ・申請事業がモデルケースとなり、全国の更生保護団体にノウハウを普及させられる可能性がある。
助成額	【総額】 22,114,330 円 【内訳】 直接事業費： 18,143,730 円 管理的経費： 2,922,600 円 評価関連経費： 1,048,000 円

2 団体目

団体名	公益社団法人東京社会福祉士会
活動地域	東京都
事業名	再犯防止地域支援ネットワークづくり
事業概要	<p>有志の社会福祉士の地域ごとの活動組織である「地区会」に対し、再犯防止の枠組みの内外で活動している組織と協働し、罪を犯した過去を持つ人たちも巻き込んだ支え合いの場を設ける取り組みに乗り出すよう働きかけ、地区会の支援機能強化などを行っていく。地区会が行う具体的な活動としては、地域の福祉関係者が学習会などを通し、罪を犯した過去を持つ人たちの支援への理解を深め、更生保護関係者（保護司会等）と協働しながら、被支援者が立ち寄りやすい居場所づくりを行ったり、個々人の力を生かせるピアサポート活動の運営などを、地域に根差した形で行うことを想定している。こうした活動を通じて、罪を犯した過去を持つ人たちが必要な社会資源につながりながら、安心して社会生活を送れるようにすることを目指す。</p>
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・事業設計が具体的であり、更生保護制度では手が届きづらい部分の支援について、福祉の立場から地域支援ネットワークを構築し、行政への働き掛けまで視野に入れているところに期待できる。 ・専門性と様々なリソースを持つ社会福祉士の集団であり、更生保護とは違ったアプローチで、対象者と社会との繋がりを構築していくことを期待する。 ・現場を持つ社会福祉士に更生保護分野に対する理解の促進を図ってきた実績もあり、しっかりとした組織基盤を持つ団体であることは評価できる。
助成額	<p>【総額】 21,413,170 円</p> <p>【内訳】 直接事業費：18,774,420 円 管理的経費：1,653,750 円 評価関連経費：985,000 円</p>

3 団体目

団体名	更生保護法人西本願寺白光荘
活動地域	京都府京都市右京及び近郊
事業名	みんなの居場所事業
事業概要	もとは「寺子屋」として機能してきた地域の「お寺」で、週に1回程度、軽食をとりながら、子どもから大人まで集まれる居場所を開設する。そこにビーズアクセサリー作りやリラクゼーション、専門職も入れた相談しやすい場づくりなど、参加者の様々なニーズに応えられるようなメニューを用意していく。また、そこに地域の保護司、BBS、更生保護女性会などの更生保護ボランティアや福祉関係者、地域住民等が入ることで、所属や背景に関係なく、それぞれが得意なことを生かせるメニュー作り、場づくりを目指す。これまで内向きともいわれた更生保護団体が安全安心な地域作りの中核的な役割を果たすことができる。
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで更生保護関係者との限定的な繋がりしかなかった更生保護施設が、積極的に外に出て、地域の様々な関係者と繋がりを持ち、中心的存在としてネットワークを構築しようという姿勢が評価できる。 ・他業種と連携することで、社会との新たな繋がりが見えてくる可能性が感じられる。
助成額	<p>【総額】 6,299,000 円</p> <p>【内訳】 直接事業費：5,133,100 円</p> <p> 管理的経費： 866,900 円</p> <p> 評価関連経費：299,000 円</p>

4 団体目

団体名	特定非営利活動法人 ジャパンマック（ジャパンマック福岡）
活動地域	福岡県福岡市及び近郊
事業名	人生の再出発を支援し、支援者も支えるネットワークづくり
事業概要	<p>触法依存症者支援の経験から、支援者が孤立せずに当事者（被支援者）視点の支援を行えるよう、</p> <p>①地域の社会資源をつなげるネットワークを立ち上げ、支援会議等を行う。資源の少ない分野は開拓を行い、被支援者に効果的な支援を提案・提供できる状態を目指す。</p> <p>②支援者同士が顔の見える関係性を作り、気軽に相談・助言し合えるよう、支援者をバックアップする場や仕組みを作る。</p> <p>③被支援者が自らつながりたいと思うような支援のあり方を目指し、被支援者及び支援者がゆるやかにつながれる大人食堂等の居場所作りを行う。</p> <p>④気軽に相談できるホットラインや SNS、HP に連携相談先を掲載するなど、相談ツールの拡充を図る。</p> <p>上記活動を行うことで、誰もが必要な支援に繋がれるネットワーク構築を目指す。</p>
選定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所作りと相談支援を通じたネットワークの構築を目指しており、多様な団体を巻き込んだ活動が期待できる。 ・当事者の視点を中心とした支援の課題が的確に捉えられている。支援者の孤立の防止という重要な観点を持った事業である。
助成額	<p>【総額】 6,830,400 円</p> <p>【内訳】 直接事業費：5,533,500 円</p> <p> 管理的経費： 972,000 円</p> <p> 評価関連経費：324,900 円</p>

5 団体目

団体名	一般社団法人 京都わかくさねっと
活動地域	京都府京都市及び近郊
事業名	(主) ひとりひとりの困りごとを地域で解決するホゴちゃん HUB (副) 上京区の相互扶助活動
事業概要	地域には、日常のちょっとした困りごとや実現したいことが溢れている。また、ひきこもり当事者など、孤立している人たちも存在する一方で、社会と繋がり、誰かの役に立ちたい人も多くいる。本事業は、地域を熟知する自治会や更生保護関係者が地域の人々の困りごとや夢を見つけ、それらに合った適任のスタッフ（若者や当事者を含む）をマッチングし、ともに対応していく。「わかくさりビング」での活動を中心に、ひとりひとりの声を聞き取り、マッチングさせ、行政の領域や各種団体の枠組み、世代間を超えた新しい相互扶助の事業を京都市上京区で実践する。
選定理由	・様々なアプローチを使って事業を展開していこうとする姿勢は評価できる。 ・ネットワークをただ広げていくのではなく、網の目を細かくするなど、質の部分に焦点を当てているところが評価できる。
助成額	【総額】 6,300,000 円 【内訳】 直接事業費：5,526,500 円 管理的経費： 473,500 円 評価関連経費：300,000 円